



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

栃木県ユネスコ連絡協議会 会員研修会

2017年10月20日(金)、足利学校・まちなか遊学館などで、栃木県ユネスコ連絡協議会会員研修会が開催されました。

足利学校でまずオープニング・セレモニーがありました。栃木県ユネスコ連絡協議会 神林すみ子会長(日光ユネスコ協会)から開会のごあいさつがあり、続いて主管ユネスコである足利ユネスコ協会 間宵勉会長からごあいさつがありました。さらに本日の研修会スケジュールの説明が事務局からありました。

続いて会場を移動し、『足利学校内 方丈の間』において『論語の素読体験』が行われました。「論語抄」をテキストにして素読をしました。講師は、足利学校論語素読運営委員会委員 石川博右先生がご担当されました。石川先生の迫力ある大きな声を模範として、参加者約40名も声を合わせて論語の素読を行いました。

続いて、『まちなか遊学館』で懇談・情報交換会が行われました。まず、本日参加の5つのユネスコ協会が最近の活動内容について丁寧に説明しました。日光ユネスコ協会、開倫ユネスコ協会、佐野ユネスコ協会、大田原ユネスコ協会、足利ユネスコ協会がそれぞれ発表したのち、意見交換や質疑応答などを行いました。昼食後、『足利の魅力再発見/映像のまち』というテーマで、足利市みどり文化・スポーツ財団 坂上隆理事長からお話がありました。続いて足利市政策推進部 映像のまち推進課の職員2名から、さまざまな映画やCMの担当者が足利市を訪れ、いろんな場所(足利西高校、名草巨石郡など)で撮影がなされているとのお話です。最後に全員で今は使われていない映画館で、足利市が映像のまちとして映画撮影やCM撮影などに積極的に取り組んでいる様子をまとめた番組を見せいただきました。足利市にお住まいの方々は、以前に来たことのある懐かしい映画館のようでした。



活発に質疑応答や意見交換する様子



各ユネスコ協会の発表の様子



論語の素読

ユネスコ世界哲学の日

毎年11月第三木曜日は国連記念日「世界哲学の日」です。

2017年11月16日(木)、開倫ユネスコ協会主催「ユネスコ世界哲学の日」のイベントが東京駅近くの日本工業倶楽部で行われました。

総合司会は開倫ユネスコ協会 林明夫会長です。開会の辞が文部科学省日本ユネスコ国内委員会 高尾初江委員(開倫ユネスコ協会事務局長)より述べられました。

続いて、上野通子参議院議員(開倫ユネスコ協会名誉顧問)からの祝辞では、日本人が幸せを感じる『3つのK』は「結婚」「家族」「子ども」ですと述べられ、そして皆様の哲学への思いがますます強くなり、多くの日本人が幸せを感じられるようになることを祈念します、と話されました。次に、文部科学省日本ユネスコ国内委員会 小林洋介事務次長は、本日の開催は哲学によりユネスコ憲章の理念の実現を目指すもので、世界的にも先導的で意義深い取り組みです、と話されました。

続いて作新学院大学渡邊弘学長の基調講演「教育と哲学」では、教育とは生きていくお手伝いであり、また、子どもたちと共に考え、共に感じていくことが重要と話されました。次に『ルワンダの教育を考える会』代表 永遠瑠マリルイズ理事長から問題提起がありました。理事長は、戦争には常識はありません、もらったカビだらけのパンを食べるか、食べずに死んでいくか、その選択をつきつけられました、と難民キャンプでのつらい、つらい出来事を淡々と語られ、聞いていて涙がこぼれました。理事長は、暖かい布団に入って眠れるのは「平和」だからですね、とやさしく語りかけました。今は、福島県を拠点にルワンダにある「ウムチョムイーザ学園」の子どもたちへの教育支援をされています。

ご公務がお忙しい中、茂木敏充経済再生担当大臣(開倫ユネスコ協会名誉会長)がおいでになり、林会長はじめご来場の皆様に対するメッセージを述べられました。

次に日本ユネスコ協会連盟 鈴木佑司理事長からの問題提起がありました。これからのユネスコにとって大切なことは、生涯学習が重要なこと、先進国の中で日本は貧困率が高いということの理解、現在少子・高齢化が進み、学校と地域と家庭がつながりを失わないよう努力を重ねることが重要、と話され、「越えよう国境の壁」を目標にグローバルな活動をし、大人と青年の交流などさまざまな取り組みを通して、一日一日の努力を積み重ねていきたい、と述べられました。最後のパネルディスカッションでは、スプリングユネスコクラブ 岡田弘行最高顧問からの発表、伊豆ユネスコクラブ 小林恵智代表幹事からの発表があり、最後に司会の開倫ユネスコ協会林明夫会長が、本日の講演会を締めくくり終了となりました



開倫ユネスコ協会林明夫会長



会場の様子



永遠瑠マリルイズ理事長



基調講演の様子



作新学院大学渡邊弘学長